Fujitsu Notebook LIFEBOOK

B5FL-2861-01 Z0

取扱説明書

このたびは弊社の製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。
本書をご覧になり、本製品を使用する準備をしてください。使用上のご注意は、必ずお読みください。
お使いの機種によっては、添付や搭載されていない機能などについての記載もありますが、あらかじめご了承ください。

添付品のご確認

万一、欠品などがございましたら、ご購入元にご連絡をお願いします。
なお、記載している添付品とは別に、注意書きの紙などが入っている場合があります。添付品および注意書きの紙などは大切に保管してください。

標準添付品		
□ パソコン本体	□ AC アダプタ	□ 電源ケーブル
□ 取扱説明書スタートガイド	□ はじめにお読みください	□ 保証書
※ バリューシリーズのみ	□ USB マウス（光学式）	□ リカバリ起動ディスク
	□ リカバリデータディスク	□ ドライバーズディスク
	□ PowerDVD/Power2Go ディスク	

カスタムメイド添付品（選択された構成により添付されます）		
□ USB マウス（光学式）	□ USB マウス（レーザー式）	□ 保証拡張規定
□ 保証延長パック証書	□ リカバリ起動ディスク	□ リカバリデータディスク
□ ドライバーズディスク	□ PowerDVD/Power2Go ディスク	□ プライバシーフィルター

・リカバリデータディスクを選択した場合
搭載 OS に応じたディスクが添付されます。ディスクが複数枚添付される場合があります。
・Office を選択した場合：プロダクトキーカード（紙）は添付されません。
インターネットに接続して Office アプリケーションを初めて起動した際に自動的にライセンス認証されます。

マニュアルについて

- **取扱説明書（本書）**
  パソコンの設置、接続、セットアップまでを説明しています。
- **リカバリガイド（本製品の内蔵ストレージに格納）**
  リカバリデータやドライバーのディスクを作成する方法とリカバリ方法を説明しています。次の手順でご覧になれます。
  ・「スタート」ボタン→画面右上の「すべて」→「リカバリガイド」の順にクリックします。
- **製品ガイド（機種別編、共通編）**
  本製品の取り扱い、取り付け、仕様については「機種別編」、アプリ、BIOS、トラブルシューティング、廃棄・リサイクルについては「共通編」に記載しています。
- **機能別マニュアル**
  カスタムメイドで選択した機能をはじめ、特定の機能について説明しています。

マニュアルは、改善のため変更することがあります。
上記のマニュアルは、インターネットで最新版を公開しています（マニュアルのほか、お使いになるうえでの注意事項を公開しています）。
https://www.fmworld.net/biz/fmv/support/fmvmanual/

お使いになる前に

安全にお使いいただくために

このマニュアルには、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、「安全上のご注意」（→ P.5）をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。

本製品は、お客様が通常お使いになるうえで最適な環境になるよう各種設定を行って出荷しています。
弊社出荷時の状態からマニュアルに記載されていない設定を変更したり、Windows のレジストリ情報を変更したりすると、変更内容によっては、仕様上の性能が発揮できなくなる場合や、有寿命部品の劣化が早まる場合がありますので、設定を変更せずにお使いいただくことをお勧めします。

保証書について

・保証書は、必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。
・修理を依頼される場合には、必ず保証書をご用意ください。
・保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。
・保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となります。ご注意ください（詳しくは、保証書をご覧ください）。
・修理後は、本製品の内容が修理前とは異なり、ご購入時の状態や、何も入っていない状態になっている場合があります。大切なデータは、バックアップをとり、保管しておいてください。
・本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造終了後 5 年です。

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。
お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。
ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。
・原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

使用許諾契約書（ライセンス条項）

本製品にインストール、または添付されているソフトウェアをご使用いただく権利をお客様に対して許諾するにあたり、ご同意いただくことを使用の条件とさせていただいている「ソフトウェアの使用条件」は、本製品の内蔵ストレージに格納しています。
セットアップ時にご同意いただいた後に再度ご覧になりたい場合は、「エクスプローラー」→「PC」内の「OEMEULA.html」を検索してください。

データのバックアップについて

本製品に記録されたデータ（基本ソフト、アプリケーションソフトも含む）の保全については、お客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。また、修理を依頼される場合も、データの保全については保証されませんので、事前にお客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。
データが失われた場合でも、弊社ではいかなる理由においても、それに伴う損害やデータの保全・修復などの責任を一切負いかねますのでご了承ください（大切なデータは日頃からバックアップをとられることをお勧めします）。

セキュリティ機能のご利用について

セキュリティ機能は、完全な認証照合や、データやハードウェアの完全な保護を保証するものではありません。お客様がセキュリティ機能を使用されたこと、または使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関しても、弊社は一切の責任を負いかねます。
また、操作ミスや、本製品に関する注意事項を守っていただけなかった結果、データなどが復旧できなくなったり、重要なデータが流出または損失したりしても、弊社は一切の責任を負いかねます。

液晶ディスプレイの特性について

以下は、液晶ディスプレイの特性です。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
・液晶ディスプレイは非常に精度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや、常時点灯するドットが存在する場合があります（有効ドット数の割合は 99.99% 以上です。有効ドット数の割合とは「対応するディスプレイの表示しうる全ドット数のうち、表示可能なドット数の割合」を示しています）。
・本製品で使用している液晶ディスプレイは、製造工程により、各製品で色合いが異なる場合があります。また、温度変化などで多少の色むらが発生する場合があります。
・製造工程上やご利用環境によって空気中の微細な異物が混入する場合があります。これらは故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますのであらかじめご了承ください。
・長時間同じ表示を続けると残像となることがあります。残像は、しばらく経つと消えます。この現象を防ぐためには、省電力機能を使用してディスプレイの電源を切るか、スクリーンセーバーの使用をお勧めします。
・表示する条件によってはムラおよび微少な斑点が目立つことがあります。

有寿命部品について

・本製品には、有寿命部品が含まれています。有寿命部品は、使用時間の経過に伴って摩耗、劣化などが進行し、動作が不安定になる場合がありますので、本製品をより長く安定してお使いいただくためには、一定の期間で交換が必要となります。
・有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や使用環境等により異なりますが、空調のある通常のオフィス環境において 1 日約 8 時間、1 ヶ月で 25 日のご使用で約 5 年です。なお、この期間はあくまでも目安であり、この期間内に故障しないことや無料修理をお約束するものではありません。また、長時間連続使用など、ご使用状態によっては、この目安の期間よりも早期に部品交換が必要となる場合があります。
・本製品に使用しているアルミ電解コンデンサは、寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙の原因となる場合がありますので、早期の交換をお勧めします。
・摩耗や劣化などにより有寿命部品を交換する場合は、保証期間内であっても有料となります。なお、有寿命部品の交換は、当社の定める補修用性能部品単位での修理による交換となります。
・本製品をより長く安定してお使いいただくために、省電力機能の使用をお勧めします。
・1 日 8 時間以上の連続運転等で早期に部品寿命を迎えた場合、修理に応じられない場合があります。

＜主な有寿命部品一覧＞

液晶ディスプレイ、ハードディスク、フラッシュメモリ（SSD/eMMC）、光学ドライブ、USB メモリ、スマートカードスロット、キーボード、マウス、AC アダプタ、ファン、スタイラスペン、等

※機種によって搭載している部品は異なります。

消耗品について

バッテリーや乾電池は消耗品です。
・バッテリーの寿命は使用環境および保管方法、ご使用の時間や頻度によって大きく異なります。
・長期間使用し、次のような症状が出た場合、バッテリーの寿命が考えられます。
　－バッテリーの駆動時間や充電時間が極端に短くなる
　－満充電にならなくなる
　－充電できなくなる
　－使用中に勝手に電源が切れる
・バッテリーはご使用条件により、寿命が近づくにつれて膨れる場合があります。リチウムイオンバッテリーの特性であり、安全上問題はありません。ただし、内部機器を圧迫し故障の原因となりますので、修理を依頼してください。
・本体を長期間使用しなかった場合にも、バッテリーは劣化します。
バッテリーの交換は、保証期間の内外を問わず有償です。

24 時間以上の連続使用について

・本製品は、24 時間以上の連続使用を前提とした設計にはなっておりません。

無線 LAN について　5GHz 帯のチャンネルについて

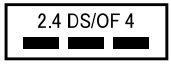
IEEE 802.11a/b/g/n/ac/ax 準拠の無線 LAN を搭載した機種では、5GHz の周波数帯において、次のチャンネルを使用できます。
・W52：36(5,180MHz)/40(5,200MHz)/44(5,220MHz)/48(5,240MHz)
・W53：52(5,260MHz)/56(5,280MHz)/60(5,300MHz)/64(5,320MHz)
・W56：100(5,500MHz)/104(5,520MHz)/108(5,540MHz)/112(5,560MHz)/116(5,580MHz)/120(5,600MHz)/
　　124(5,620MHz)/128(5,640MHz)/132(5,660MHz)/136(5,680MHz)/140(5,700MHz) /144(5,720MHz)
5GHz 帯を使用する場合は、上記チャンネルを利用できる無線 LAN 製品とのみ通信が可能です。

Bluetooth® ワイヤレステクノロジーについて



・上記表示の 2.4GHz 帯を使用している無線設備は、全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可です。変調方式として FHSS 変調方式およびその他の変調方式を採用しており、与干渉距離は 80m です。
・本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。
　（1）本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
　（2）万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、ご購入元にご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
　（3）その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、ご購入元へお問い合わせください。
・本製品は、日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。日本国内でのみお使いいただけます。また、海外でご使用になると罰せられることがあります。
・パソコンと通信相手の機器との推奨する最大通信距離は、見通し 10m 以内です。ただし、Bluetooth® ワイヤレステクノロジーの特性上、ご利用になる建物の構造・材質、障害物、ソフトウェア、設置状況、電波状況等の使用環境により通信距離は異なります。また、通信速度の低下や通信不能となる場合もありますのであらかじめご了承ください。
・航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

無線 LAN について（搭載機種のみ）



・上記表示の 2.4GHz 帯を使用している無線設備は、全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。変調方式として DSSS 変調方式および OFDM 変調方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。
・本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。
（1） 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
（2） 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、ご購入元にご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
（3） その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、ご購入元へお問い合わせください。
・本製品は、日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。日本国内でのみお使いいただけます。また、海外でご使用になると罰せられることがあります。
・パソコン本体と通信相手の機器との推奨する最大通信距離は、IEEE 802.11a 準拠では見通し 15m 以内、IEEE802.11b 準拠、IEEE 802.11g 準拠では見通し 25m 以内、IEEE 802.11n 準拠、IEEE 802.11ac 準拠、IEEE 802.11ax 準拠では見通し 50m 以内となります。ただし、無線 LAN の特性上、ご利用になる建物の構造・材質、障害物、ソフトウェア、設置状況、電波状況等の使用環境により通信距離は異なります。また、通信速度の低下や通信不能となる場合もありますのであらかじめご了承ください。
・IEEE 802.11g 準拠と IEEE 802.11b 準拠の無線 LAN の混在環境においては、IEEE 802.11g 準拠は IEEE 802.11b 準拠との互換性をとるため、IEEE 802.11g 準拠本来の性能が出ない場合があります。IEEE 802.11g 準拠本来の性能が必要な場合は、IEEE 802.11g 準拠と IEEE802.11b 準拠を別のネットワークにし、使用しているチャンネルの間隔を 5 チャンネル以上あけてお使いください。
・本製品に内蔵の無線 LAN 搭載機種を 5.2/5.3GHz 帯、および 6GHz 帯の LPI モードでご使用になる場合、電波法の定めにより屋外ではご利用になれません（法令で許可された場合を除く）。
・航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。
・アドホック通信は対応していません。

本製品は、国内での使用を前提に作られています。海外での使用につきましては、お客様の責任で行っていただくようお願いいたします。

本製品は日本国内仕様であり、海外での保守サービスおよび技術サポートは行っておりません。

本製品には、"外国為替及び外国貿易法"に基づく特定貨物が含まれています。したがって、本製品を輸出する場合には、同法に基づく許可が必要となる場合があります。

本製品は、一般社団法人電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、本規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。また、バッテリー残量が不充分な場合、バッテリー未搭載で AC アダプタを使用している場合は、規定の耐力がないため不都合が生じることがあります。

本製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品です。

本パソコンは電気・電子機器の特定の化学物質<鉛、六価クロム、水銀、カドミウム、ポリブロモビフェニル、ポリブロモジフェニルエーテルの 6 物質>の含有表示を規定する JIS 規格「J-Moss」において、化学物質の含有率が基準値以下であることを示す「グリーンマーク（非含有マーク）」に対応しています。本パソコンにおける特定の化学物質（6 物質）の詳細含有情報は、下記 URL をご覧ください。
https://jp.fujitsu.com/platform/pc/product/related/ecology/jmoss/



IEC 60825-1:2014
クラス 1 レーザ製品の国際規格である（IEC 60825-1）に準拠しています。

危険ラベル／警告ラベル／注意ラベル

本製品には危険・警告・注意ラベルが貼ってあります。これらのラベルは、絶対にはがしたり、汚したりしないでください。

警告表示について

このマニュアルでは、いろいろな絵表示を使っています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

⚠危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負うことがあり、その切迫の度合いが高いことを示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使っています。

	△で示した記号は、警告・注意をうながす内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
	⃠で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

安全上のご注意

本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、必ずお読みになり、正しく安全に、大切に取り扱ってください。また、本製品をお使いになるときは、マニュアルをよくお読みになり、正しくお使いください。お使いの機種によっては、添付や搭載されていない機能などについての記載もありますが、あらかじめご了承ください。

■ 設置／準備

⚠警告



コンセントの近くに設置し、電源プラグに容易に手が届くようにしてください。

万一の場合に、電源プラグが抜けなくなり、危険につながる恐れがあります。



梱包に使用している袋類は、お子様の手の届く所に置かないでください。

口に入れたり、頭にかぶったりすると、窒息の原因になります。



台に設置して使う場合は、台からはみ出したり、片寄ったりしないように載せてください。

本製品が落ちたり、倒れたりして、けが、故障の原因になります。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。



振動している場所や傾いた所などの不安定な場所に置かないでください。

本製品が倒れたり落下して、けが、故障の原因になります。



本製品を風通しの悪い場所、火気のある場所、引火性ガスの発生する場所で使用したり、置いたりしないでください。

火災の原因になります。



矩形波が出力される機器（UPS（無停電電源装置）や車載用 AC 電源など）に接続しないでください。

火災の原因となることがあります。



本製品や周辺機器のケーブル類の配線にご注意ください。

ケーブルに足を引っかけ転倒したり、本製品や周辺機器が落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因になります。

添付もしくは指定された以外の AC アダプタや電源ケーブルを本製品に使ったり、本製品に添付の AC アダプタや電源ケーブルを他の製品に使ったりしないでください。
感電、火災の原因になります。

電池を機器に入れる場合は、＋（プラス）と－（マイナス）の向きに注意し、表示どおりに入れてください。
間違えると電池の破裂、液もれ、発火の原因になります。

電源ケーブルや AC アダプタは、指定された電圧（100V）の壁のコンセントやコネクタに直接かつ確実に接続してください。
不完全な接続状態で使用すると、感電、火災の原因になります。

タコ足配線をしないでください。
感電、火災の原因になります。



電源プラグにアース線が付いている場合は、電源プラグをコンセントに差し込む前に、必ずアース線をコンセントのアースネジへ接続してください。
安全のため、電源プラグにはアース線が付いています。アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、感電の原因になります。
アースネジ付のコンセントが利用できない場合は、お近くの電気店もしくは電気工事士の資格をもつ人に、アースネジ付コンセントの取り付けについてご相談ください。電源ケーブルを抜くときは、先に電源プラグを抜いてからアース線を外してください。

アース線はガス管には絶対に接続しないでください。
火災の原因になります。

濡れた手で電源ケーブルや AC アダプタを抜き差ししないでください。
感電の原因になります。

ケーブル類を束ねた状態で使用しないでください。
発熱して、火災の原因になります。

⚠注意

本製品を調理台や加湿器のそばなどの油煙や湯気の多い場所や、ほこりの多い場所などで使用したり、置いたりしないでください。
感電、火災の原因になることがあります。

本製品や AC アダプタを直射日光があたる場所、閉めきった自動車内、ストーブのような暖房器具のそば、ホットカーペットの上で使用したり、置いたりしないでください。
感電、火災、故障の原因になります。

本製品を移動する場合は、次の点にご注意ください。
電源ケーブルや AC アダプタが傷つき、感電、火災の原因となったり、本製品が落下したり倒れたりして、けがの原因になります。
・電源ケーブルや AC アダプタをコンセントから抜いてください。
・接続されたケーブルなどを外してください。
・作業は足元に充分注意して行ってください。

本製品を設置する場所付近に、次亜塩素酸ナトリウムや二酸化塩素成分を含む空間除菌薬の設置はお控えください。また、本製品や設置するエリアを消毒する場合には、次亜塩素酸ナトリウムや二酸化塩素成分を含む消毒薬は使用しないでください。
塩素が製品の内部に混入し、接続端子部の腐食による感電、火災、故障の原因になります。

■ 使用時

⚠警告

火中に投入、加熱しないでください。
発煙・発火・破裂の原因になります。

端子をショートさせないでください。
感電、火災の原因になります。

発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生したときは、ただちに電源プラグをコンセントから抜いてください。
異常状態のまま使用すると、感電、火災の原因になります。その後、異常な現象がなくなるのを確認して、弊社お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。



落としたり、カバーなどを破損した場合は、電源を切り、電源ケーブルや AC アダプタを抜いてください。バッテリーパックを取り外せる場合は、バッテリーパックも取り外してください。

そのまま使用すると、感電、火災の原因になります。その後、弊社お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。



開口部（通風孔など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。

感電、火災の原因になります。



本製品や本製品を設置している台にぶら下がったり、上に乗ったり、寄りかかったりしないでください。

本製品が落ちたり、倒れたりして、けが、故障の原因になります。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。



本製品の温度が高くなる場所に長時間触れて使用しないでください。

排気孔周辺や AC アダプタは熱くなりますので、使用時に触れないでください。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。低温やけどの原因になります。



風呂場やシャワー室など、水のかかるおそれのある場所で使用したり、置いたりしないでください。

感電、火災の原因になります。



本製品の上や周りに、花びんやコップなど液体の入ったものを置かないでください。

水などの液体が本製品の内部に入って、感電、火災の原因になります。



本製品を持ち上げたり運んだりする場合、液晶ディスプレイや液晶ディスプレイの枠部分を持たないでください。

故障、けがの原因になります。持ち上げたり運んだりするときは、本製品の底面あるいは本製品中央の両脇を持ってください。



使用中の本製品や AC アダプタに、ふとんや布などをかけないでください。通風孔がある場合は、ふさがないでください。

通気孔が目詰まりしないように、掃除機などで定期的にほこりを取ってください。内部に熱がこもり、火災の原因になります。



ご使用になる場合には、部屋を明るくして、画面からできるだけ離れてください。

お使いになる方の体質や体調によっては、強い光の刺激を受けたり、点滅の繰り返しによって一時的な筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす場合がありますので、ご注意ください。

過去にこのような症状を起こしたことがある場合は、事前に医師に相談してください。

本製品をご使用中にこのような症状を発症した場合には、すぐに本製品の使用を中止し、医師の診断を受けてください。



本製品や周辺機器のケーブル類に、お子様が容易に触れないようにしてください。

誤って首に巻きつけると窒息の原因になります。



AC アダプタ本体や、ケーブルが変形したり、割れたり、傷ついている場合は使用しないでください。

感電、火災の原因になります。



AC アダプタ本体を落下させたり、強い衝撃を与えないでください。

カバーが割れたり、変形したり、内部の基板が壊れ、故障、感電、火災の原因になります。修理は、弊社問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。



自転車、バイク、自動車などを運転中に本製品を使用しないでください。

安全走行を損ない、事故の原因になります。安全な所に止めてからお使いください。



バッテリーパックを取り扱うときは、次の点にご注意ください。

液もれ、けが、やけど、破裂、火災、周囲を汚す原因になります。

- 指定された方法以外で使用しない。
- 分解や改造をしない。
- 加熱したり、火の中に入れたりしない。
- 熱器具に近づけない。
- 火のそばや炎天下などで充電したり、放置したりしない。
- 落としたり、ぶつけたり、大きな衝撃を与えない。
- 先のとがったもので力を加えたり、強い圧力を加えない。
- ショートさせない。
- 端子部分をぬらしたり、水の中に入れたりしない。
- 金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに携帯、保管しない。
- お子様の手の届く所に保管しない。
- 乾電池を充電しない。
- ハンダ付けしない。

特に、バッテリーパックは、落下などの衝撃による内部の電池や回路基板の損傷によって発熱・発火し、けがの原因になったり、破裂・液もれによる周囲の汚損の原因になることがあります。

バッテリーパックに衝撃を与えた場合、あるいは外観に明らかな変形や破損が見られる場合には、使用をやめてください。

電源ケーブルや AC アダプタが傷ついている場合は使用しないでください。
感電、火災の原因になります。

電源ケーブルや AC アダプタの接続部分に、ドライバーなどの金属を近づけないでください。
感電、火災の原因になります。

ケーブル類は、傷つけたり、加工したり、加熱したり、重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。
感電、火災の原因になります。

AC アダプタ本体にケーブル類をきつく巻きつけるなどして、根元部分に負担をかけないでください。
ケーブル類の芯線が露出したり断線したりして、感電、火災の原因になります。

電源ケーブルや AC アダプタを抜くときは、コード部分を引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。
ケーブル類が傷つき、感電、火災の原因になります。

無線 LAN、無線 WAN、Bluetooth®ワイヤレステクノロジー、NFC ポート、ワイヤレスマウス／キーボードの注意
次の場所では、無線通信機能を停止してください。無線機器からの電波により、誤動作による事故の原因となります。
- 病院内や医療用電子機器のある場所
  特に手術室、集中治療室、CCU（冠状動脈疾患監視病室）などには持ち込まないでください。
- 航空機内など無線通信機能の使用を禁止されている場所
- 自動ドア・火災報知機など自動制御機器の近く
- 身動きが自由に取れない状況など、植込み型医療機器（心臓ペースメーカーなど）を装着している方と密着する可能性がある場所
- 満員電車の中など付近（15cm（NFC ポートは 12cm））に植込み型医療機器を装着している方がいる可能性がある場所

本製品は、レーザー光線を装置カバーで遮断する安全な構造になっていますが、次のことにご注意ください。
- 光源部を見ないでください。
  光学ドライブのレーザー光線の光源部を直接見ないでください。また、万一の故障で装置カバーが破損してレーザー光線が装置外にもれた場合は、レーザー光線をのぞきこまないでください。レーザー光線が直接目に照射されると、視力障害の原因になります。
- お客様自身で分解したり、修理・改造したりしないでください。
  レーザー光線が装置外にもれて目に照射されると、視力障害の原因になります。

レーザー式マウスは底面から、目に見えないレーザー光が出ています。
クラス 1 レーザ製品は、予測可能な使用環境において極めて安全ですが、マウス底面の光は直視しないでください。

⚠注意

本製品の上に重いものを置かないでください。
けがの原因となることがあります。

本製品をお使いになる場合は、次のことに注意し、長時間使い続けるときは 1 時間に 10〜15 分の休憩時間や休憩時間の間の小休止をとるようにしてください。
本製品を長時間使い続けると、目の疲れや首・肩・腰の痛みなどを感じる原因になることがあります。画面を長時間見続けると、「近視」「ドライアイ」などの目の健康障害の原因になります。
- 画面の位置や角度、明るさなどを見やすいように調節する。
- なるべく画面を下向きに見るように調整し、意識的にまばたきをする。場合によっては目薬をさす。
- 背もたれのあるいすに深く腰かけ、背筋を伸ばす。
- いすの高さを、足の裏全体が付く高さに調節する。
- 手首や腕、肘は机やいすの肘かけなどで支えるようにする。
- キーボードやマウスは、肘の角度が 90 度以上になるように使用する。

液晶ディスプレイを開閉するとき、手などをはさまないよう注意してください。
指のケガに注意
けが、故障の原因になります。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。



光学ドライブのトレーやスロット、コネクタ、通風孔など、本製品の開口部に、手や指を入れないでください。ディスクなどをセットまたは取り出す場合も、手や指を入れないでください。

けが、感電の原因になります。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。

ヘッドホン・イヤホン・ヘッドセットをご使用になるときは、音量を上げすぎないでください。

耳を刺激するような大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与える原因となることがあります。

電源を入れたり切ったりする前には音量を最小にしておいてください。

ヘッドホン・イヤホン・ヘッドセットをしたまま、電源を入れたり切ったりしないでください。突然大きな音や刺激音が出て、聴力に悪い影響を与える原因となることがあります。

メモリーカードや SIM カードの使用終了直後は、高温になっていることがあります。

これらを取り外すときは、使用後充分に温度が下がるのを待ってから取り出してください。やけどの原因になります。

マウス底面の光を直視しないでください。レーザー式マウスの場合も、目に見えないレーザー光線が出ています。

目の痛みなど、視力障害を起こすおそれがあります。

■ メンテナンス／増設

⚠警告

お客様ご自身で修理、改造しないでください。また、マニュアルなどで指示がある場合を除いて分解しないでください。

けが、感電、火災の原因になります。修理や点検などが必要な場合は、弊社問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。

取り外したカバー、キャップ、ネジ、電池などの部品は、お子様の手の届く所に置かないでください。

誤って飲み込むと窒息の原因になります。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

メモリの取り付け、取り外しやお手入れのときなど、本体カバーをあける場合は、お子様の手が届かない場所で行ってください。

作業が終わるまでは大人が本製品から離れないようにしてください。お子様が手を触れると、けが、故障の原因になります。

メモリの取り付け、取り外しやお手入れのときなど、カバーをあける場合は、本製品および接続されている機器の電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いた後、しばらくたってから行ってください。

カバーをあけた状態で電源ケーブルをコンセントに挿し込んだり、電源を入れたりしないでください。やけど、感電、火災の原因になります。

清掃するときに、清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。

故障・火災の原因となります。

清掃するときに、塩化ベンザルコニウムを含む消毒薬を使用しないでください。また、製品を取り扱う前の手指消毒は、エタノール系の消毒薬を用いるものとし、塩化ベンザルコニウム成分を含む消毒薬は使用しないでください。手指消毒の後は、手指を十分に乾かしてください。消毒薬が手指に付着した状態では製品に触らないでください。

塩素が製品の内部に混入し、接続端子部の腐食による感電、火災、故障の原因になります。

本製品の内部に搭載されているリチウム電池には触らないでください。

取り扱いを誤ると、人体に影響を及ぼすおそれがあります。リチウム電池はご自身で交換せずに、弊社問い合わせ窓口にご相談ください。

必ず本製品に添付のバッテリーパックを使用してください。寿命などでバッテリーパックを交換する場合は、必ず指定品を使用してください。

指定以外のバッテリーパックは、電圧や端子の極性が異なっていることがあるため、火災、破裂、発熱のおそれがあります。

指定以外の電池は使用しないでください。また、2 本以上セットする場合は、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。

電池の破裂、液もれにより、火災、けが、周囲を汚損する原因になります。

電源ケーブルや AC アダプタはコンセントから定期的に抜いて、接続部分のほこりやゴミを乾いた布でよく拭き取ってください。
ほこりがたまったままの状態で使用すると感電、火災の原因になります。1 年に一度は点検清掃してください。特に電源プラグ部分についてはほこりがたまりやすいので、ご注意ください。

内蔵オプションや周辺機器の取り付け／取り外し、お手入れなどを行うときは、本製品および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。
バッテリーパックを取り外せる場合は、バッテリーパックも取り外してください。
故障、感電、火災の原因になります。

周辺機器のケーブルは、本製品や周辺機器のマニュアルをよく読み、正しく接続してください。
誤った接続状態でお使いになると、感電、火災の原因になります。また、本製品および周辺機器が故障する原因になります。

⚠注意

周辺機器などの取り付け、取り外しを行うときは、指定された場所以外のネジは外さないでください。
けが、故障の原因になります。

本製品内部の突起物、および指定された部品以外には、手を触れないでください。
けが、故障の原因になります。

電源を切った直後は、本製品の内部が高温になっています。
メモリや拡張カードなどの内蔵オプションを取り付け／取り外す場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後、充分に温度が下がるのを待ってから作業を始めてください。
やけどの原因になります。

内蔵オプションや周辺機器の取り付け／取り外し、お手入れなどを行うときは、指をはさんだり、ぶつけたりしないように注意してください。
けがの原因になります。

■ 異常時

⚠警告

本製品の内部に水などの液体や金属片などの異物が入った場合は、すぐに本製品の電源を切り、電源ケーブルや AC アダプタを抜いてください。
バッテリーパックを取り外せる場合は、バッテリーパックも取り外してください。
そのまま使用すると、感電、 火災の原因になります。その後、弊社お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。

雷が鳴り出したときは、落雷の可能性がなくなるまで本製品やケーブル類に触れないでください。ケーブル類の接続作業は、落雷の可能性がなくなるまで行わないでください。
落雷の可能性がある場合は、あらかじめ本製品の電源を切り、その後電源ケーブルや AC アダプタをコンセントから抜き、ケーブル類を取り外しておいてください。
落雷による故障、感電、火災の原因になります。

バッテリーパックや電池が液漏れし、漏れ出た液が万一、目や口に入ったときは、こすらず水道水などの多量のきれいな水で充分に洗った後、すぐに医師の治療を受けてください。
失明など障害の原因になります。
液が皮膚や衣類に付着したときは、ただちに水でよく洗い流してください。皮膚に障害を起こす原因になります。

⚠注意

カバーや部品などが破損・脱落したり、キーボードのキートップが外れた場合は、使用を中止し、弊社お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。
破損した製品や破片によるけがや故障の原因になります。
特にお子様が近くにいる場合はご注意ください。

液晶ディスプレイが破損し、液状の内容物が流出して皮膚に付着した場合は、流水で 15 分以上洗浄してください。また、目に入った場合は、流水で 15 分以上洗浄した後、医師に相談してください。
中毒を起こすおそれがあります。液晶ディスプレイの内部には、刺激性物質が含まれています。

■ 保管／廃棄

⚠警告



バッテリーパックの廃棄については、マニュアルの説明に従ってください。

本製品は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。バッテリーパックはリチウムイオン電池を使用しており、一般のゴミといっしょに火中に投じられると破裂のおそれがあります。

⚠注意



本製品を長期間使用しないときは、安全のため電源ケーブルや AC アダプタをコンセントから抜いてください。

バッテリーパックや乾電池を取り外せる場合は、取り外してください。火災の原因になります。



本製品の廃棄については、マニュアルの説明に従ってください。

本製品は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。本製品にはリチウム電池を使用しております。ワイヤレスキーボード、ワイヤレスマウス、リモコンなどには、乾電池、充電池を使用しております。一般のゴミといっしょに火中に投じられると電池が破裂するおそれがあります。使用済み電池の廃棄については、マニュアルの説明に従ってください。

使用上のご注意

本製品をお使いになるうえでは、「安全上のご注意」（→P.5）もあわせてご覧ください。
お使いの機種によっては、添付や搭載されていない機能などについての記載もありますが、あらかじめご了承ください。

パソコン本体の取り扱い

- **パソコンを長時間お使いになる場合は、バッテリー切れによるデータ消失などを防ぐため、必ず AC アダプタを取り付けてください。**
- **電源を切った後、すぐに電源を入れないでください。再度電源を入れる場合は、10 秒以上待ってから電源を入れてください。**
- **パソコン本体内部からは、パソコン本体内部の熱を外に逃がすためのファンの音が聞こえることがあります。これらは故障ではありません。これらの動作音は機種によって異なります。**
- **パソコン本体には静電気に弱い部品が使用されていますので、静電気の発生しやすい場所では使用しないでください。また、使用する前には金属質のものに触れて、静電気を逃がしてください。**
- **パソコン本体に金属成分を含むラベルを貼らないでください。センサー類などの機能の妨げになったり、静電気などにより誤動作を起こす要因となります。**
- **パソコン本体を立てたり傾けたりして置かないでください。パソコン本体が倒れて、故障の原因となることがあります。**
- **バッテリーパックを取り外すときは、落とさないよう充分ご注意ください。**
- **バッテリーパックを取り外した状態で使用しないでください。**
- **本体内部に異物（クリップや金属片、シャープペンシルの芯など）を入れないでください。内部に入ってしまった場合は無理に取り出そうとせず、電源を切って修理に出してください。**
- **BIOS のパスワードを設定するときは、設定したパスワードを忘れないよう注意してください。BIOS の管理者パスワードを忘れた場合、再設定には保証期間内においても有償での修理が必要となります。**
- **周辺機器は、弊社純正品をお使いください。**
- **USB 接続機器をパソコン本体に接続するときは、コネクタの形状が合っていることを確認して差し込んでください。誤った形状のものを差し込むと、故障につながるおそれがあります。**

液晶ディスプレイの取り扱い

- 液晶ディスプレイは次のような点に注意して取り扱ってください。液晶ディスプレイが破損するおそれがあります。
  - ・液晶ディスプレイを開くときは、両方の手を添えて、液晶ディスプレイの中央付近を持って開いてください。
  - ・液晶ディスプレイを開いたり閉じたりするときは、ゆっくりと衝撃を与えないようにしてください。
  - ・液晶ディスプレイを開くときは、無理に大きく開けないでください。
  - ・液晶ディスプレイをたたいたり強く押したりしないでください。
- 液晶ディスプレイの表面および背面に、強い圧力を加えないでください。画面が割れたり、画面にムラが生じる場合があります。
- 液晶ディスプレイを閉じる際は、キーボード面との間には、物（ペン、書類、マウス・AC アダプタのケーブルなど）を挟まないようご注意ください。
- 液晶ディスプレイを開いたまま、パソコン本体を裏返して置かないでください。

パソコンを持ち運ぶときは

- 電源が入った状態（スリープ中も含む）で持ち運ばないでください。また、パソコンの電源を切った後は、5 秒以上待ってから持ち運んでください。
- ポートリプリケータに対応している機種の場合、持ち運ぶときにはポートリプリケータを取り外してください。接続したまま持ち運ぶとケーブル、パソコン本体、ポートリプリケータのコネクタを破損するおそれがあります。また、ポートリプリケータが外れ、落下するなどしてけがの原因となります。
- メモリーカード、またはスマートカードなどのスロットを搭載している機種で、スロットにカード類をセットしている場合、必ず取り外してください。カード類を取り付けたまま持ち運ぶと、パソコンやカード類を破損するおそれがあります。
- USB 接続機器を接続している場合、必ず取り外してください。機器類を取り付けたまま持ち運ぶとパソコンや機器類を破損するおそれがあります。
- 液晶ディスプレイを閉じて持ち運んでください。液晶ディスプレイを開いた状態での持ち運びは、液晶ディスプレイ表面やベゼルに力が加わり、ガラス部が破損する危険性があります。
- パソコン本体を持ち上げたり移動させたりするときは、両手でつかみ、落とさないようにしてください。片手での持ち運びは、局所的な圧迫や落下の危険性があります。
- パソコンをかばんやケースに入れずに持ち運ぶ場合は、パソコンを閉じた状態で両手で保持してください。
- 複数台を積み重ねた状態での設置・持ち運びはしないでください。
- パソコン本体や AC アダプタを持ち運ぶ場合は、ぶつけたり落としたりしないでください。かばんなどに入れて衝撃や振動から保護してください。
- パソコンをかばんやケースに入れて持ち運ぶ場合は、パソコンに接続しているマウス、USB メモリなどの周辺機器をすべて取り外してください。周辺機器を接続したまま、かばんやケースに入れて持ち運ぶと、USB コネクタ部を破損するおそれがあります。
- パソコンをかばんの中などに入れて携帯する場合は、ボタン、スイッチなどが押されて動作しないように、向きに注意して入れてください。
- かばんに収納する際は、同梱物による局所的な圧迫発生にご注意ください。パソコン本体上面（天板）からの局所圧迫によってガラスが割れ、パソコン本体底面からの局所圧迫では内蔵部品変形・破損の危険性があります。
- パソコン用ケースに収納の際は、本製品サイズに合ったものをご利用いただき、マウス・AC アダプタ・モバイルルーター等との同時収納による圧迫にご注意ください。パソコン本体上面（天板）からの局所圧迫によってガラスが割れ、パソコン本体底面からの局所圧迫では内蔵部品変形・破損の危険性があります。
- パソコン本体を自動車内に設置した状態での使用は、保証しておりません。
- 自転車やバイクのカゴなどにパソコン本体を直接載せて運ばないでください。かばんやパソコン用ケースなどに入れて持ち運んでください。

放熱について

- **長時間使用すると、パソコン表面の温度が上昇して、温かく感じることがありますが、故障ではありません。これは、パソコン内部の温度が一定以上になると、装置全体から放熱するので、キーボードなどの表面も温かくなるためです。**
- **パソコン本体および AC アダプタは、使用中に熱をもつことがあります。そのため、長時間同じ場所に設置すると、設置する場所の状況や材質によっては、その場所の材質が変質したり劣化したりすることがあります。ご注意ください。**
- **電源が入っているときに液晶ディスプレイを閉じてもスリープしない設定にしたときは、パソコンの液晶ディスプレイを閉じないでください。パソコン本体の放熱が妨げられ、故障の原因となります。**
- **台所などの油を使用する場所の近くでは、パソコンを使わないでください。油分がパソコン内部に入って CPU ファンに付着し、放熱性能を低下させる可能性があります。**
- **ひざの上などでは使用しないでください。パソコンの底面が熱くなり、低温やけどを起こす可能性があります。**
- **排気孔周辺は熱くなりますので、使用時には触れないでください。**
- **使用するアプリによっては、パームレスト部（手を載せる部分）が多少熱く感じられることがあります。長時間使用する場合には低温やけどを起こす可能性がありますので、ご注意ください。**

落雷のおそれがあるときの注意

落雷の可能性がある場合は、パソコンの電源を切るだけでなく、すべてのケーブル類を抜いておくことをお勧めします。また、雷が鳴り出したら、パソコン本体やケーブル類、およびそれらにつながる機器に触れないでください。安全のため、避雷器の設置をお勧めします。

落雷には、直撃雷と誘導雷の 2 種類ありますが、パソコンの故障は主に誘導雷によって起こります。雷により周囲に強力な電磁場ができると発生し、電線や電話線などから侵入するのが誘導雷です。パソコンの場合、電源ケーブル、外部機器との接続ケーブル、LAN ケーブルなどからの誘導雷の侵入が考えられます。誘導雷を防ぐにはケーブル類を抜くなどの対策が必要です。

直撃雷は避雷針によって雷を誘導して対象物を保護できますが、避雷器の許容値を超えた非常に大きな雷を受けた場合には、避雷器を用いても本パソコンを保護できないことがあります。

場合によっては、パソコン本体だけでなく、周辺機器などが故障することもあります。落雷によるパソコン本体の故障は、保証期間内でも有償修理となります。故障の状況によっては、修理費用が高額になることもあるので、ご注意ください。

使用・設置

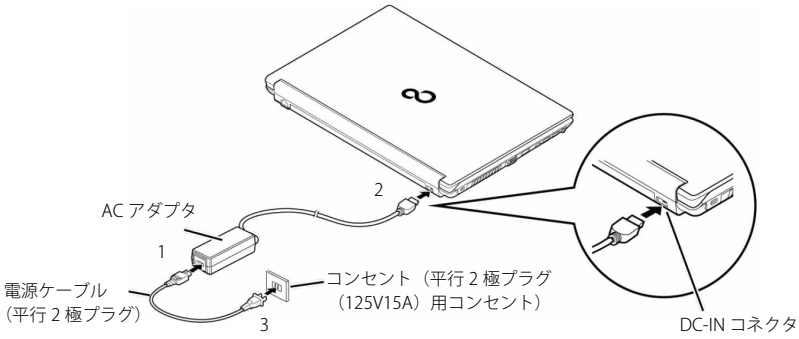
使用、設置に適さない場所

次のような場所で使用したり設置したりすると、本製品の故障や一部機能が利用できない原因となります。

- **充分なスペースが確保できない場所**
  パソコン本体の周囲に 10cm 以上のすき間を空けてください。排気孔などをふさがないようにしてください。
- **極端に高温または低温になる場所**
- **直射日光のあたる場所**
- **衝撃や振動の加わる場所や不安定な場所**
- **湿気やほこり、油煙の多い場所**
  CPU ファンなどの機能を低下させる可能性があります。
- **水など液体のかかる場所**
- **腐食性ガス（温泉から出る硫黄ガスなど）が出る場所**
- **次亜塩素酸ナトリウム、二酸化塩素等の塩素を含む薬剤を使用した空間除菌の間近**
  消毒する場所の付近や、風下（ファンなどを使用している場合）での製品のお取り扱いは、十分ご注意ください。
- **無線通信機能を搭載している機種の場合、電子レンジやアマチュア無線機の近く、見通しの悪い場所、周囲が金属などの導体（電気を通しやすいもの）でできている場所**
- **電磁波の影響を受けやすいもの（テレビやラジオ）磁気を発生するもの（モーターやスピーカー）の近く**
- **次の温湿度条件の範囲を超える場所**
  ・動作時：温度 5～35 ℃／湿度 20 ～ 80%RH
  ・非動作時：温度-10～60 ℃／湿度 20 ～ 80%RH
  ただし、動作時、非動作時とも結露していないこと。
- **結露する場所**
  結露は、空気中の水分が水滴になる現象です。パソコンを温度の低い場所から温度の高い場所、または温度の高い場所から温度の低い場所へ移動すると、パソコン本体内部に結露が発生する場合があります。結露が発生したままパソコンを使用すると故障の原因となります。
  パソコンを移動したときは、室温と同じくらいになるのを待ってから電源を入れてください。

接続

1 AC アダプタに電源ケーブルを接続します。
2 AC アダプタを DC-IN コネクタに接続します。
3 電源プラグをコンセントに接続します。



（イラストは機種や状況により異なります）

セットアップ

注意事項

- **Windows のセットアップが完了するまでは、次のものを接続または変更しないでください。**
  Windows セットアップが正常に行われなかったり、エラーメッセージが表示されたりする場合があります。
  ・周辺機器　　・BIOS の設定
- **セットアップは無線 LAN や有線 LAN に接続した状態で行ってください。**
- **Windows Autopilot をご利用の場合（Windows 11 Pro の場合）**
  Windows セットアップ時に有線 LAN や無線 LAN でインターネットに接続し、指示に従ってセットアップを進めてください。
- **セットアップはキーボードおよびフラットポイント（マウス）で操作してください。**
- **セットアップ中は、電源を切らないでください。**
- **セットアップ中は、液晶ディスプレイを閉じないようにしてください。**
- **Windows セットアップの各ウィンドウが完全に表示されないうちに、キーを押したりすると、Windows セットアップが完全に行われない場合があります。ウィンドウが完全に表示されてから操作してください。**
- **Windows のバージョンにより、セットアップ手順（画面）が変更される場合があります。本書と違う画面が表示された場合は、画面の指示に従ってください。**

■ セットアップで困ったときは

□ Windows セットアップが進められなくなった

電源ボタンを 10 秒以上押して製品本体の電源を一度切り、セットアップをやり直してください。

POINT ▸ セットアップ中に、「問題が発生しました　やり直すことができます。」と表示された場合は、「やり直す」をクリックしてください。

セットアップする

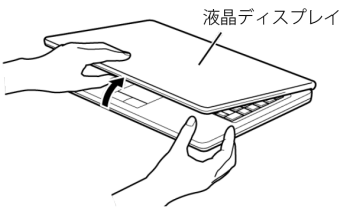
セットアップは、インターネットに接続が必要です。事前にインターネットに接続する環境を整えてください。

■初めて電源を入れる

1 パソコン本体に、両方の手を添えて開きます。

液晶ディスプレイは次の点に注意して取り扱ってください。

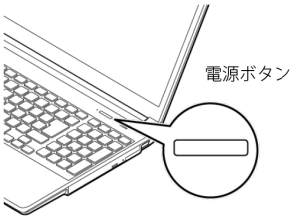
・液晶ディスプレイを開くときは、中央付近を持って開いてください。
・液晶ディスプレイを開いたり閉じたりするときは、ゆっくりと衝撃を与えないようにしてください。
・液晶ディスプレイを開くときは、無理に大きく開けないでください。
・液晶ディスプレイをたたいたり強く押したりしないでください。



（イラストは機種や状況により異なります）

2 電源ボタンを押します。

自己診断（POST）が始まります。
画面が表示されるまで、一時的に画面が真っ暗な状態になることや、画面に変化がないことがありますが、故障ではありません。絶対に電源を切らずにそのままお待ちください。起動時にエラーが表示された場合は、『製品ガイド（共通編）』の「BIOS」または「トラブルシューティング」をご覧ください。
自己診断（POST）が終わると Windows のセットアップの画面が表示されます。



（イラストは機種や状況により異なります）

3 画面に注意事項が表示された場合は、よくご覧になり、【Y】キーを押します。（初めて電源を入れた場合のみ）

電源を入れると次のようなメッセージが表示されます。
セットアップを中止する場合は、【N】キーを押すと電源が切れます。
再度セットアップを開始するときは、手順 1 から操作してください。

```
★　パソコンを使い始めるための大切なお願い　★

これからセットアップを開始します。
次の注意事項をご一読のうえ、『取扱説明書』を読みながら進めてください。

◆重要◆
セットアップを進めるには、インターネットへの接続が必要です。
無線ＬＡＮや有線ＬＡＮでインターネットに接続できる場所で実施してください。

■セットアップが完了するまで、絶対に電源を切らないでください。
　また、ＡＣアダプタや電源ケーブルを抜かないでください。

■セットアップが完了するまで、周辺機器を接続しないでください。

■トラブル発生時は、あわてずに『製品ガイド（共通編）』の
　「トラブルシューティング」をご覧ください。

■時間に余裕を持って作業してください。
キーボードのいずれかのキーを押してください。
【Ｙ】：このままセットアップを続けます。
【Ｎ】：セットアップを中止し、後でセットアップします。
　　※【Ｎ】を押すと自動的に電源が切れます。

この画面はセットアップ完了後、表示されなくなります。
```

この後は、お使いの Windows のセットアップを行ってください。

■ Windows 11

セットアップの説明画面が表示された場合、音声での案内が始まることがあります。必要に応じて画面右下のスピーカーアイコンをクリックし、音量を調整してください。

1 お住まいの地域を確認する画面では、「はい」をクリックします。

POINT ▸ 「国または地域はこれでよろしいですか？」という画面が表示されず、「こんにちは」や「PC が再起動したのはなぜですか？」の画面が表示された場合は、「次へ」をクリックして先に進めてください。

2 キーボードレイアウトを確認する画面では、「はい」をクリックします。

3 2 つ目のキーボードレイアウトを追加する画面では、「スキップ」をクリックします。

4 ネットワークに接続する画面が表示された場合は、ネットワークに接続して、「次へ」をクリックします。

・自動接続にはチェックを入れたままにしてください。

5「更新プログラムをチェックしています」画面が表示された場合は、しばらく待ちます。

・ネットワークが不安定な場合、以降の手順と異なる画面が表示される場合があります。その場合は画面の指示に従ってください。

6 ライセンス契約の画面では、内容をよく読み、「同意」をクリックします。

7「デバイスに名前を付けましょう」画面では、名前を入力し、「次へ」をクリックします。その後は自動的に再起動します。

・再起動の後、ネットワークに接続する画面が表示された場合は、ネットワークに接続して、「次へ」をクリックします。

8「このデバイスをどのように設定しますか？」画面が表示された場合は、「個人用に設定」を選択して「次へ」をクリックします。

POINT ▸ 「個人用に設定」は Microsoft アカウントを使用する設定です。「職場または学校用に設定する」を選択する場合は、画面の指示に従ってください。

9 Windows の更新が進行中の画面が表示された場合は、しばらく待ちます。

10「Microsoft エクスペリエンスのロックを解除する」画面が表示された場合は、「サインイン」をクリックします。

11「Microsoft アカウントを追加しましょう」画面では、次のように操作します。

□すでにお持ちの Microsoft アカウントでサインインする場合

1. アカウントを入力して、「次」をクリックします。
2. パスワードを入力して「サインイン」をクリックします。

□新規に Microsoft アカウントを作成する場合

1. 「アカウントがありませんか？作成しましょう！」の「作成しましょう！」をクリックします。
2. 「アカウントの作成」画面で、「新しいメールアドレスの取得」をクリックします。
3. Microsoft アカウントとして使いたい文字列を入力し、「次へ」をクリックします。
   ・メールアドレス入力後、「既に使用されています。」と表示された場合は、別のメールアドレスを入力してください。
4. 「パスワードの作成」が表示されたら、パスワードを入力し、「次へ」をクリックします。
5. 「お名前の入力」画面では、姓と名を入力して、「次へ」をクリックします。
6. 「生年月日の指定」画面では、生年月日を設定して、「次へ」をクリックします。
7. 「セキュリティ情報の追加」画面では、メールアドレスまたは携帯電話番号（スマートフォン含む）を入力して、「次へ」をクリックします。
   ・本人確認をするときに必要になります。すぐに応対できる情報を入力してください。

12 顔認証または指紋認証を使用する画面が表示された場合は、「今はスキップ」をクリックします。

13「PIN の作成」画面では、「PIN の作成」をクリックします。

14「PIN のセットアップ」画面では、新しい PIN と、PIN の確認を入力し、「OK」をクリックします。

15「デバイスのプライバシー設定の選択」画面では、内容をよく読み、「同意」をクリックします。

16「PC のセットアップ方法を選択します」画面が表示された場合は、「新しい PC としてセットアップする」を選択して、「次へ」をクリックします。

17「エクスペリエンスをカスタマイズしましょう」画面が表示された場合は、「スキップ」をクリックします。

・すでにお持ちの Microsoft アカウントでサインインする場合は、この画面は表示されません。

18「PC からスマートフォンを使用する」画面が表示された場合は、「スキップ」をクリックします。

19 携帯電話またはスマートフォンの写真をバックアップして安全に保管する画面が表示された場合は、「スキップ」をクリックします。

20「常に最近の閲覧データにアクセスできます」画面が表示された場合は、「今はしない」をクリックします。

21「Microsoft 365 を無料で使用できることをご存知でしたか?」画面では、「次へ」をクリックします。

22「PC Game Pass」についての画面が表示された場合は、「今はしない」をクリックします。

Windows のセットアップが完了すると、Windows 11 のデスクトップが表示されます。

POINT ▸ ライセンス認証手順

・インターネットに接続すると自動的にライセンス認証が完了します。ライセンス認証のための操作は不要です。

・インターネットに接続できない場合は、「スタート」ボタン→「設定」から、「システム」をクリックし「ライセンス認証」から「電話でのライセンス認証」を選択いただくか、「スタート」ボタン→画面右上の「すべて」→「Windows ツール」→「ファイル名を指定して実行」から「slui.exe　4」と入力し、画面の指示に従ってライセンス認証を行ってください。

セットアップ後

■ ご使用になる前の設定

● ご購入時およびリカバリ後は、ディスプレイの明るさの設定は最大になっていません。
暗いと感じる場合などは必要に応じて明るさを調整してください。
明るさの調整方法は『製品ガイド（機種別編）』の「ディスプレイ」の「明るさを調整する」をご覧ください。

● これ以降の設定には、インターネットの接続が必要になるものがあります。
インターネット上のマニュアルなどをご覧になって操作や設定を行い、本パソコンをお使いください。

□ Windows Update
インターネットに接続し、Windows を最新の状態に更新します。詳しくは Windows のヘルプをご覧ください。

□ アップデートナビを有効にする
アップデートナビを有効にするために、一度アプリを起動し、自動更新通知・常駐設定で「自動更新通知をする」を選択してください。その後、ドライバーやアプリが更新されると、通知が表示されます。

□ セキュリティ対策を行う
ウイルス対策ソフトの定義ファイルを最新の状態に更新します。

□ ディスクの作成 →『リカバリガイド』
内蔵ストレージに格納されているデータから、リカバリに必要なディスクを作成します。ご購入後、お手元にディスクがない場合は、できるだけ早い時期にディスクを作成してください。

□ OneDrive の設定
Microsoft アカウントでセットアップした場合は、OneDrive を使用する設定となっています。OneDrive の設定はセットアップ後に変更することができます。

□ Office 製品のインストール →『製品ガイド（共通編）』
インターネットに接続し、インストールします。

□ 無線 LAN、無線 WAN→ 機能別マニュアル
これらの機能を使用するためには、インターネット上のマニュアルをご覧ください。

ご使用にあたって、次のマニュアルの該当箇所を印刷しておくことをお勧めします。

□ BIOS パスワード→『製品ガイド（共通編）』

□ お手入れ→『製品ガイド（機種別編）』

■ デバイス暗号化または BitLocker ドライブ暗号化の回復キーを保管する

一部のパソコンでは、次のときに Windows 11 に搭載されている「デバイスの暗号化」の機能が自動的に有効になり、内蔵ストレージが暗号化されることがあります。

- **Microsoft アカウントでパソコンにサインインしている場合**
- **組織アカウント（「職場または学校アカウント」）または Microsoft Entra（Azure Active Directory）アカウントでパソコンにサインインしている場合**

また「BitLocker ドライブ暗号化」を有効にすると内蔵ストレージが暗号化されます。
暗号化が有効になった状態でパソコンにトラブルが発生すると、次のような場合に回復キーを求められることがあります。

- **「この PC を初期状態に戻す（リカバリ）」でストレージを初期状態に戻す場合**
- **修理から戻ってきたパソコンの電源を入れた場合**

回復キーを求められたときは、事前に保管しておいた回復キーの入力を行わないと、先に進むことができなくなります。このような場合に備え、事前に回復キーを保管しておくことをお勧めします。

□ デバイス暗号化が有効になっているか確認する

1「スタート」ボタン→「設定」→「プライバシーとセキュリティ」の順にクリックします。

2「デバイスの暗号化」の項目が表示されているか確認します。

●「デバイスの暗号化」の項目が表示されている場合
「デバイスの暗号化」をクリックします。

- 「デバイスの暗号化」がオンの場合は、この後の「回復キーを保管する」の手順に進んでください。
- 「デバイスの暗号化」がオフの場合は、この後の「回復キーを保管する」を行う必要はありません。

●「デバイスの暗号化」の項目が表示されていない場合
お使いのパソコンは「デバイスの暗号化」に対応していません。この後の「回復キーを保管する」を行う必要はありません。

POINT ▸ 暗号化設定が BitLocker で管理されている場合は、次の「BitLocker ドライブ暗号化が有効になっているか確認する」をご覧ください。

□ BitLocker ドライブ暗号化が有効になっているか確認する

1「スタート」ボタン→「設定」→「プライバシーとセキュリティ」の順にクリックします。

2 ウィンドウ右の「デバイスの暗号化」→「BitLocker ドライブ暗号化」の順にクリックします。

- 「BitLocker を無効にする」と表示されている場合、BitLocker ドライブ暗号化は有効になっています。この後の「回復キーを保管する」の手順に進んでください。
- 「BitLocker を有効にする」と表示されている場合、BitLocker ドライブ暗号化は無効になっています。この後の「回復キーを保管する」を行う必要はありません。

□ 回復キーを保管する

1 次の操作を行います。
「スタート」ボタン→画面右上の「すべて」→「Windows ツール」の順にクリックし、「コントロールパネル」をダブルクリックします。

2「システムとセキュリティ」→「BitLocker ドライブ暗号化」または「デバイスの暗号化」の順にクリックします。
「BitLocker ドライブ暗号化」または「デバイスの暗号化」が表示されます。

3「回復キーのバックアップ」をクリックします。

重要 ▸ このとき「BitLocker を有効にする」が表示されている場合は「回復キー」が保存されていません。Microsoft アカウント、組織アカウントまたは Microsoft Entra（Azure Active Directory）アカウントでサインインしたときや、ご自身で「BitLocker を有効にする」をクリックされた際に、「回復キーのバックアップ」を実行してください。

4 表示されたメニューから「Azure AD アカウントに保存する」、「Microsoft アカウントに保存する」、「ファイルに保存する」または「回復キーを印刷する」を選択し、保管します。ご利用の環境によっては表示されないメニューもあります。

POINT

- 事前に「回復キー」を保管していない場合は、マイクロソフト社のホームページで確認することができます。次の URL にサインインしてください。
  - Microsoft アカウントを利用している場合
    https://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=237614
  - Microsoft Entra（Azure Active Directory）アカウントを利用している場合
    https://go.microsoft.com/fwlink/?linkid=857635

重要

- 本製品の修理や、ハードウェアの変更を行う場合は、次の点にご注意ください。
  - デバイスの暗号化が有効になっている場合、デバイスの暗号化を必ず無効にしてください。
  - BitLocker ドライブ暗号化をご利用の場合、BitLocker ドライブ暗号化を必ず無効にするか、一時的に「保護の中断」に設定してください。

■ トラブル発生時の対処

トラブルの発生時に備えて、事前に『リカバリガイド』と、『製品ガイド（共通編）』の次の該当箇所を印刷しておくことをお勧めします。

- **「トラブルシューティング」－「トラブル発生時の基本操作」－「診断プログラムを使用する」**
  Windows が起動しなくなった場合、診断プログラムを使用し、障害箇所を診断できます。
- **「トラブルシューティング」－「よくあるトラブルと解決方法」－「起動・終了時のトラブル」**
  起動時にエラーメッセージが表示されたり、ビープ音が鳴ったりした場合の対処方法が記載されています。

お問い合わせ先

インターネット上のマニュアルをご覧になっても不明な点がございましたらお問い合わせください。
お問い合わせの前に、パソコン本体のラベルまたは保証書に記載されている、型名（MODEL）、製造番号（SERIAL）をご確認ください。

技術的な ご質問・ご相談	**ご購入元（販売会社、または弊社の担当営業・SE）にご相談ください。** 個人のお客様など、ご相談先がご不明の場合は、次の窓口へお問い合わせください。 なお、主に個人のお客様向けサービスとなりますので、サーバーや業務システム連携のご質問、トラブルシューティングのご相談につきましては、対応できない場合があります。あらかじめご了承ください。 FMV チャットサポート（運営：富士通クライアントコンピューティング株式会社） https://azby.fmworld.net/support/contact/chat/
ハードウェアの 故障・修理	**富士通ハードウェア修理相談センター** **（運営：富士通株式会社およびエフサステクノロジーズ株式会社）** **https://eservice.fujitsu.com/webrepair/** 「修理ご相談チャット」で 24 時間いつでも、故障診断、修理費用のご案内から、修理のお申し込みまでできます。 **なお、保証期間中の故障・修理のご相談は、保証書に記載されている窓口をご利用いただけます。**
サプライ品の ご購入	「お問い合わせ」(https://www.fmworld.net/biz/fmv/contact/)から 「その他のお問い合わせ」の「サプライ商品」をご覧ください。

CyberLink、PowerDVD、Power2Go は、CyberLink Corporation の商標または登録商標です。
Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc.が所有権を有します。富士通株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。
HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、HDMI のトレードドレスおよび HDMI のロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。
その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。
その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

Copyright Fujitsu Limited 2025

LIFEBOOK
取扱説明書
B5FL-2861-01 Z0-01
発 行 日：2025 年 10 月
発行責任：富士通株式会社
〒211-8588 神奈川県川崎市中原区上小田中 4-1-1

●このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
●このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
●無断転載を禁じます。